

**令和6年度教育に関する事務の管理
及び執行の状況の点検及び評価報告書
(令和5年度対象事業)**

吉野川市教育委員会

1. 点検・評価について	1－2
2. 事業の評価	3
(1) 評価方法	3
(2) 評価基準	3
(3) 総合評価	3
(4) 今後の方向性	3
3. 教育委員会の運営状況	4
(1) 令和5年度教育委員	4
(2) 教育委員会会議の開催状況について	4
(3) 教育委員会の定例会、臨時会開催日	5
(4) 教育委員会会議以外の活動	5－7
4. 吉野川市教育委員会評価結果一覧表	8
5. 自己点検評価シート(令和5年度実施事業)	9－22

1. 点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないこととなっています。

吉野川市教育委員会では、市民への説明責任を果たすことを目的に教育委員会の権限に属する事務の「点検・評価」を実施し、報告書としてまとめました。

1. 推進プログラムの体系

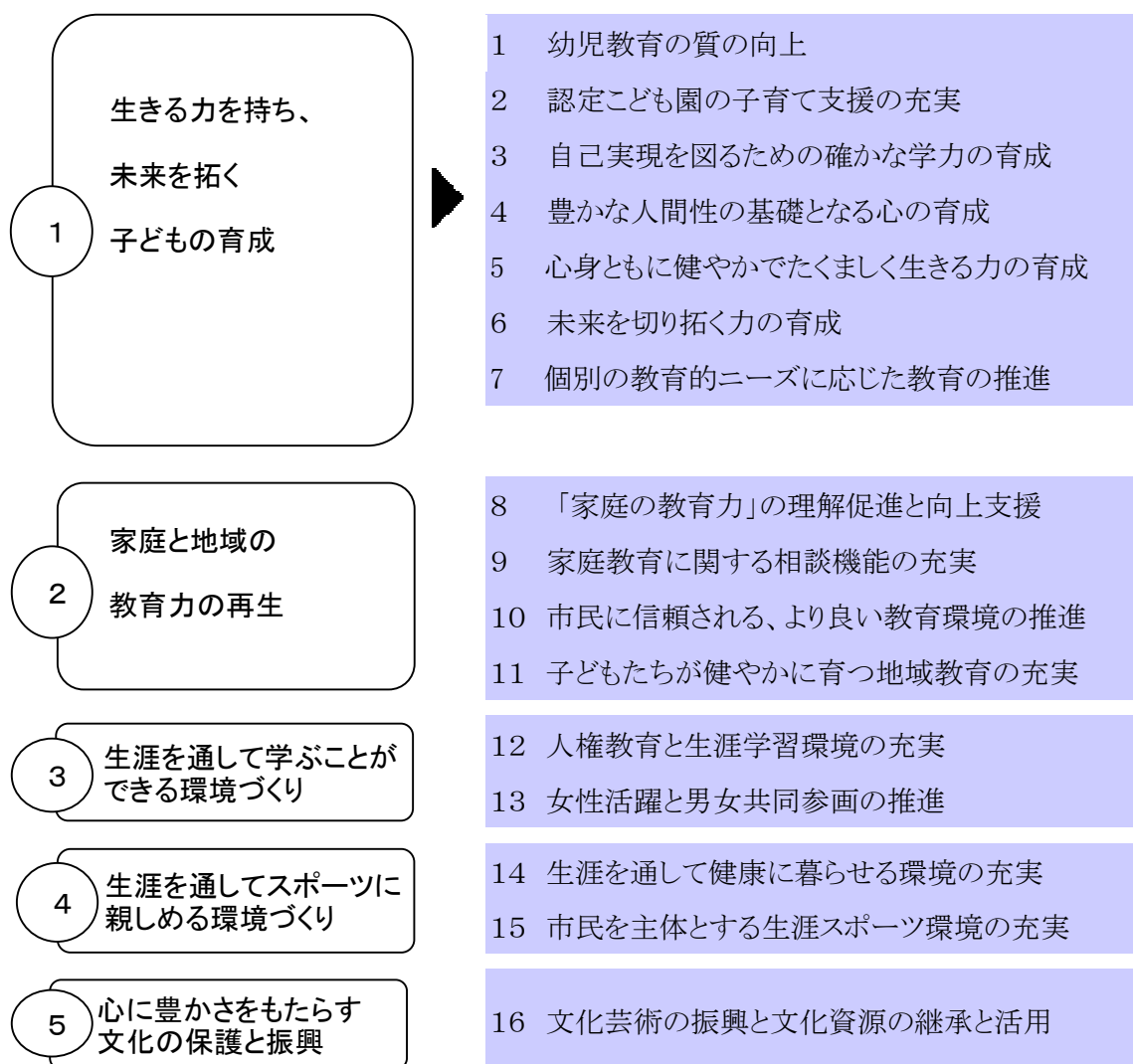
本計画の基本理念と5つの教育目標のもと、以下の体系で具体的な施策を推進します。

教育理念

- 学校・家庭・地域の相互理解と協力・連携の中、子どもたち一人一人に思いやりの心を育み、21世紀を生き抜く力の基礎を自ら培う学校教育の推進
- 地域資源を生かしながら、市民一人一人の豊かな人生をつくり、市の発展につながる生涯学習文化の創造

▼教育目標

▼推進プログラム



2. 事業の評価

(1) 評価方法

点検・評価方法として、教育委員会の権限に属する事務のうち、特に重点的施策とする主要な事業を対象とし、PDCAサイクルを活用した方法で評価します。

(2) 評価基準

① 必要性

現在の市民のニーズや社会情勢等に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

② 有効性

施策や運営方針、教育委員会で策定した「第2期吉野川市教育振興計画」の目標の実現にどの程度寄与しているかを評価します。

③ 効率性

事業コストがかかりすぎていないか、最少の経費で最大の効果を発揮しているか、無駄がないかなど、経済性の面から評価します。また、事務作業に無駄がないか、更なる効率性が図れないかを評価します。

④ 目標達成度

目標の達成状況の評価します。併せて、目標の設定水準が適切かどうかを検討します。

(3) 総合評価

事業の各評価基準を勘案し、総合的に評価を行います。

総合評価のランク

A	予定どおり順調に事務執行し、具体的な成果が表れている。
B	概ね順調に事務執行し、成果が表れている。
C	目標とした成果が予定を下回っている。

(4) 今後の方向性

総合評価を勘案し、今後の方針を決定します。

また、事業の実施結果を踏まえ、今後の課題とその改善案を策定します。

3. 教育委員会の運営状況

(1) 令和5年度教育委員

(令和5年4月1日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	栗 洲 敬 司	R5.4.1 - R8.3.31
教育長職務代理者 (任期R5.4.1-R6.3.31)	貞 野 雅 己	R2.12.22 - R6.12.21
委 員	川 村 徳 子	R1.11.26 - R5.11.25
委 員	栗 原 奈麻美	R3.12.24 - R7.12.23
委 員	熊 代 雄一郎	R2.11.28 - R6.11.27
委 員	山 口 奈 美	R4.12.26 - R8.12.25

(令和6年3月31日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	栗 洲 敬 司	R5.4.1 - R6.3.31
教育長職務代理者 (任期R5.4.1-R6.3.31)	貞 野 雅 己	R2.12.22 - R6.12.21
委 員	栗 原 奈麻美	R3.12.24 - R7.12.23
委 員	熊 代 雄一郎	R2.11.28 - R6.11.27
委 員	山 口 奈 美	R4.12.26 - R8.12.25
委 員	武 知 李 香	R5.11.26 - R9.11.25

(2) 教育委員会会議の開催状況について

教育委員会の会議は、毎月1回開催される定例会のほか、必要に応じて開催される臨時会があり、教育委員会の議決案件について審議を行うとともに、重要事項について教育委員会事務局から報告等を受けています。

令和5年度 開催回数

教育委員会定例会議	12回
教育委員会臨時会議	1回

(3)教育委員会の定例会、臨時会開催日

4月定例会	令和 5年 4月27日
5月定例会	令和 5年 5月26日
6月定例会	令和 5年 6月28日
7月定例会	令和 5年 7月27日
8月定例会	令和 5年 8月25日
9月定例会	令和 5年 9月28日
10月定例会	令和 5年 10月27日
11月定例会	令和 5年 11月24日
12月定例会	令和 5年 12月21日
1月定例会	令和 6年 1月27日
2月定例会	令和 6年 2月22日
臨時会	令和 6年 3月 8日
3月定例会	令和 6年 3月23日

(4)教育委員会会議以外の活動

【学校訪問】

年 月 日	学 校 名	
令和 5年 5月17日	西麻植小学校	鴨島東中学校
令和 5年 5月23日	山瀬小学校	山川中学校
令和 5年 5月31日	川島小学校	市立川島中学校
令和 5年10月 3日	鴨島第一中学校	高越小学校
令和 5年10月17日	牛島小学校	森山小学校
令和 5年10月25日	飯尾敷地小学校	鴨島小学校
令和 5年10月26日	知恵島小学校	学島小学校

○新型コロナウイルス感染症対策下の学校訪問について

令和4年度は、訪問人数をコロナ禍以前より減らした6名(教育長、教育委員3名、事務局2名)とし、各校を訪問しました。

令和5年度は、訪問人数をコロナ禍以前と同様の8名(教育長、教育委員5名、事務局2名)とし、各校を訪問しました。

【入学式】

年 月 日	学 校 名
令和 5年 4月11日	市立中学校、市立小学校

【卒業式】

年 月 日	学 校 名
令和 6年 3月 8日	市立中学校(4校)
令和 6年 3月15日	市立小学校(10校)

【総合教育会議】

年 月 日	内 容
令和 6年 1月26日	議題 1. 吉野川市教育大綱について 【出席者】 市長・副市長・総務部長・総務部次長・総務課係長 教育長・副教育長2名・子育て支援課長・ 教育委員4名・教育総務課長・学校教育課長・ 生涯学習課長・教育総務課係長

【教育表彰】

年 月 日	内 容	場 所
令和 5年12月16日	令和5年度教育表彰式 優れた成績をおさめた児童・生徒及び学校教育、社会教育等に顕著な功績をあげた者に対し、表彰を行う。 【表彰件数】 個人 14件 団体 3件	吉野川市役所

【その他主な行事・研修会等への委員の出席状況】

年 月 日	内 容	場 所
令和 5年 4月 5日	令和5年度徳島県・市町村教育委員会教育行政連絡協議会 (教育長・教育委員2名出席)	徳島県立総合教育センター
令和 5年11月9日	令和5年度徳島県・市町村教育委員会教育委員等研修会	オンライン
令和 6年 1月 3日	令和6年吉野川市二十歳を祝う会	吉野川市鴨島公民館

4. 吉野川市教育委員会評価結果一覧表

No.	事務事業名	担当課	評価
1	学校施設維持管理事業	教育総務課	B
2	市立中学校「英語検定」検定料補助事業	学校教育課	A
3	英語教育振興補助事業	同	B
4	特別支援教育支援員配置事業	同	B
5	帰国・外国人児童生徒トータルサポート事業	同	A
6	スクールカウンセラー配置事業	同	A
7	適応指導教室の充実	同	A
8	スクールバス運行業務	同	A
9	奨学金貸与事業	同	B
10	ICT環境整備事業	同	A
11	デジタル教科書更新事業	同	A
12	中学校夜間学級就学援助支給事業	同	A
13	青少年育成補導センター	生涯学習課	B
14	人権教育推進事業	同	A
15	二十歳を祝う会開催事業	同	A
16	公民館活動推進事業	同	B
17	文化施設管理事業	同	B
18	文化財保護管理事業	同	A
19	文化芸術振興事業	同	A
20	全国大会参加者派遣補助事業	同	B
21	徳島駅伝吉野川市選手団運営委員会	同	A
22	スポーツ団体活動支援・人材育成事業	同	B
23	体育施設の管理・運営事業	同	B
24	吉野川市民プラザ・多目的グラウンド維持管理・運營業務	同	B
25	美郷一周駅伝事業	同	B
26	吉野川市リバーサイドハーフマラソン事業	同	B
27	学校給食センター事業	学校給食センター	A

自己点検評価シート(令和5年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		学校施設維持管理事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
1	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	2 家庭と地域の教育力の再生	担当課(係)	教育総務課(総務係)
		推進プログラム	11 市民に信頼される、より良い教育環境の推進		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	吉野川市立小・中学校の児童生徒及び関係者が安全で快適に過ごせるよう、学校施設の維持管理を適切に行うことで教育環境の整備を図る。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	学校施設の長寿命化計画を考慮した上で、計画していた改修と年度途中に生じた緊急性の高い改修のバランスをとりつつ、学校施設の維持管理を行うことで、安全で快適な学校施設の整備に努める。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果(指標)	名称	単位	R5実績
	施設維持管理修繕実施	校	14
事業費	15,265 千円(R5決算)		
事業の実施内容	学校訪問時又は学校からの適宜報告等により、各学校の改修必要箇所等の集約、現場確認を行った上で、予算計上を行い、計画的な改修に努めた。また、年度途中で発生した不具合等には、当初の計画を鑑みつつ、優先順位をつけ、改修等を行った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	各学校からの改修要望箇所を全て対応することはできなかったが、計画的な改修に努め、年度途中の緊急性の高い修繕等にも柔軟に対応した。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	計画的な改修と併せて、重要度や緊急性の高いものを判断し維持管理を行うことで、安全で快適な学校施設の整備に努める。	継続して実施中

① 基本情報

事業番号	事務事業名		市立中学校「英語検定」検定料補助事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
2	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	7 未来を切り拓く力の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	吉野川市立中学校で行う「英検」を受検する中学生の保護者に対し、検定料の一部を補助し、受検者数を増加させるとともに、英語学習への取り組み意欲を高める。 補助額 4級:1,900円 3級:2,900円 準2級:3,600円 2級:3,600円
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	CEFR A1レベル相当(英検3級程度)以上の英語力を持つ中学3年生の割合について、令和6年度までに55%以上を目指す。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果(指標)	名称	単位	R5実績
	CEFR A1レベル相当(英検3級程度)以上の英語力を持つ中学3年生の割合	%	69.1
事業費	385 千円(R5決算)		
事業の実施内容	公費受検者数(補助金交付者数)及び合格者数 2級:受検者3名(合格者1名) 準2級:受検者13名(合格者9名) 3級:受検者76名(合格者62名) 4級:受検者56名(合格者44名)		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	本事業は本市総合戦略における具合的事业であり、令和6年度までに掲げた指標に到達したため。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	各校に配置したALT等を活用し、英語の技能向上に努めるとともに、令和6年度のCEFR A1レベル相当(英検3級程度)以上の英語力を持つ中学3年生の割合について、60%以上を維持する。	令和6年度

自己点検評価シート(令和5年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		英語教育振興補助事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
3	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	7 未来を切り拓く力の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	市立小中学校児童生徒の国際理解の深化を図るため、吉野川市小中連携英語教育研究会が実施する英会話等の体験活動に要する経費に対し、補助する。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	補助事業内容について適正な審査する。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果(指標)	名称	単位	R5実績
	イングリッシュキャンプに参加し、英語への興味・関心を深めた児童の人数	人	20
事業費	694 千円(R5決算)		
事業の実施内容	小中連携英語教育研究会で企画した小学生5・6年生対象、中学生対象のイングリッシュキャンプ経費に対し、それぞれ補助を行った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	概ね順調に執行した。
-----------------------	---	-------	------------

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	引き続き補助事業内容について適正な審査する。	

① 基本情報

事業番号	事務事業名		特別支援教育支援員配置事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
4	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	8 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	市内の市立小・中学校に特別支援教育支援員を配置し、学校生活や学習の面で特別な支援を必要とする児童生徒に対し食事・排泄・教室移動の際の補助等日常生活動作の介助や、学習活動上のサポートなどを行う。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	業務に必要な知識技能等について研修を行う。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果(指標)	名称	単位	R5実績
	特別支援教育支援員配置人数	人	16
事業費	32,175 千円(R5決算)		
事業の実施内容	16名を雇用し、日常生活・学習面で特別な支援を必要とする児童生徒の支援を行った。また、新規雇用の支援員に対しては、業務に必要な知識や心構え等についての研修も実施した。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	特別な支援が必要な児童生徒は増加しており、必要性はますます高まっている。今年度は、市立小・中学校に対して昨年度より1人増の合計16名を配置することができたが、各校の希望人数には達していない。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
拡大	職務内容から、適切な人材の確保が課題であるため、人材の確保に努め、希望する学校への確実な配置を目指す。	令和7年度

自己点検評価シート(令和5年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		帰国・外国人児童生徒トータルサポート事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
5	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	8 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	各小・中学校に転入してきた帰国・外国人児童生徒に日本語指導が必要な場合、各学校からの要請により、県を通じて日本語支援員を学校に派遣する。
前年度課題を踏まえた目標 (新規除く)	各小・中学校へ日本語指導が必要な児童生徒について把握し、引き続き学習支援を行う。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R5実績
事業実績・成果 (指標)	日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒への支援の割合	%	100
事業費	256 千円(R5決算)		
事業の実施内容	各小・中学校へ日本語指導が必要な児童生徒が在籍しているか調査。その後、日本語指導が必要な児童3名(途中転入も含む)に対して日本語講師を派遣し、一人あたり約30回の支援を行った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	日本語指導を希望する外国人児童に対して、支援員を派遣し、日本語学習の支援が十分にできている。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	今後も学校と密に連携を取り合い、もれのない支援を行う。ただし、令和6年度から新規児童の最大授業回数が41回→45回に増えたこと、また近年海外からの転入者が増えている現状から、後の需要増が見込まれ、コストの増加が考えられる。	令和6年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		スクールカウンセラー配置事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
6	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	5 豊かな人間性の基礎となる心の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	不登校やいじめ問題等への対応のため、小学校にスクールカウンセラー(臨床心理士)を2名配置し学校に訪問することで、児童へのカウンセリング及び保護者や教員への助言支援など、個の実情に応じた教育相談や支援体制の強化・充実を図る
前年度課題を踏まえた目標 (新規除く)	不登校やいじめ問題の他、友人関係や新型コロナに伴う不安感など、児童の多岐にわたる心のケアを相談や助言支援を通じて対応する。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R5実績
事業実績・成果 (指標)	吉野川市スクールカウンセラー(小学校)	人	2
	年間相談件数	件	1,136
事業費	3,720 千円(R5決算)		
事業の実施内容	スクールカウンセラーが、各々の実情に応じた児童の心のケアや悩み相談など、個の状況に応じた教育相談を行った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	児童や児童を取り巻く状況への精神的なケアや対処は非常に重要であり、それに十分対応しているため。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	児童へのカウンセリングや保護者及び教職員への相談だけではなく、社会情勢や対人関係による児童の心のケアに対応する人員の確保について、財務課と協議を行いながら対応していく。	令和6年度

自己点検評価シート(令和5年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		適応指導教室の充実	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
7	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	7 豊かな人間性の基礎となる心の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	様々な理由で登校困難となった児童生徒が一時的に適応指導教室「つつじ学級」に通うことで、悩みの解決と学習相談や教育活動を行うとともに、教育相談室「いきいき吉野川っ子」において悩みや不安の解消のため児童生徒・保護者並びに教職員の相談支援を行い、関係機関との連絡調整を行う。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	様々な理由から増加している不登校の児童生徒を、各校の対応職員や関係機関と連携し、適応指導教室につなげ、在籍児童生徒の進学・学校復帰を支援する。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R5実績
事業実績・成果(指標)	通室児童生徒数	人	12
	相談件数(来室相談・電話相談・学校訪問)	件	37
	体験通室	件	2
事業費	5,030 千円(R5決算)		
事業の実施内容	通室児童生徒に対し、相談員及び指導員が個々に教育相談や基本的な生活習慣の指導及び学習指導等を行うことにより、進学支援や学校への復帰及び復帰後のフォローアップを行った。さらに月1回程度カウンセラーの相談日を設けており、より専門的な相談対応を行った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	体験通室にやってきた登校困難となった児童生徒2人中1人がつつじ学級へと入級し、12人が継続して通室しており2人が学校へ復帰するなど状況改善につながっている。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	不登校の児童生徒は増加しており、学校復帰・社会とのつながり確保のために適応指導教室の役割は大きい。関係機関へ周知・啓発を積極的に行い、不登校児童・生徒を適応指導教室につないでいく。また、「いきいき吉野川っ子」についても広報し、不登校を未然に防ぐ取	令和6年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		スクールバス運行业務	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
8	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	4 自己実現を図るための確かな学力の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	①高越小学校に通学する、美郷区域内の児童及び山川区域内の一部児童 ②山川中学校に通学する、美郷区域内の生徒 上記対象者について、遠隔地からの通学に係る移動手段の確保(安全な登下校の確保)
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	市が所有する6台のスクールバスを運行し、対象となる児童生徒の遠隔地からの通学について、登下校時の移動手段の確保を図る。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R5実績
事業実績・成果(指標)	高越小学校利用者数	人	92
	山川中学校利用者数	人	6
事業費	12,232 千円(R5決算)		
事業の実施内容	スクールバス6台の運行に係る業務委託、整備管理を実施		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	関係者間(市教委、運行业者、学校、利用児童生徒の保護者)の連携、情報の共有に努め、安全な登下校の運行を実施した。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	運行业務は3年間の長期継続契約により実施しているが、社会事情に対応するため、次回更新時に契約期間等に係る検討が必要	随時

自己点検評価シート(令和5年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		奨学金貸与事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
9	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	8 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	吉野川市奨学生として認定された者に対し、奨学金を貸与することで修学の機会を確保し、次代を担う豊かな人材を育成する。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	経済的理由により修学が困難な者に対し、大学進学のための奨学金を継続する。市の奨学金以外にも県や日本学生支援機構などの奨学金の周知を行い、修学の機会を確保する。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果(指標)	名称	単位	R5実績
	R5年度貸与人数 (内訳:私立大1名)	人	1
事業費	30 千円(R5決算)		
事業の実施内容	市発行の広報誌・ホームページなどを活用し、制度の活用(貸与申請など)に関して周知等を行った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	市立中学校に対し、市の奨学金以外にも、県や日本学生機構(JASSO)等の奨学金の周知を行った。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	大学進学のための奨学金は継続する。また、市の奨学金以外にも県や日本学生支援機構などの奨学金の周知を行い、修学の機会確保に努める。	令和6年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		ICT環境整備事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
10	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	7 未来を切り拓く力の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	児童生徒の情報活用能力の向上を図るために、学校のICT環境の整備や保守維持管理、支援員による授業のサポート等、教職員がICT教育を推進していくための支援を行う。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	①ICT機器の整備や保守維持管理を行う。(ハード面での支援) ②【小学校】ICT支援員によるサポート等を行う。(ソフト面での支援)

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果(指標)	名称	単位	R5実績
	ICT支援員(報酬・期末手当・旅費)	千円	6,142
	需用費	千円	622
	委託料・使用料及び賃貸料	千円	41,808
事業費	46,267 千円(R5決算)		
事業の実施内容	学校でのICT教育上必要となるICT関係機器(パソコン・タブレットPC・サーバー等)やネットワーク機器の管理・運用保守・更新等。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	ICT支援員の増員により、ICT機器の保守更新の対応、ICT支援員によるサポートの充実、教職員を対象としたソフトウェア講習会など、ICT教育推進のための支援がより増強された。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
拡大	教職員のICT機器の活用には、機器の使用に関するサポートや環境のさらなる改善が必要である。インターネット回線の改善を年度内に行う予定。	令和6年度

自己点検評価シート(令和5年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		デジタル教科書更新事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
11	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	7 未来を切り拓く力の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	指導者用デジタル教科書を導入・活用することにより、教職員による効果的な授業の推進とともに、抽象的な思考が難しい段階にある児童生徒への負担を軽減する。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	活用実績を調査・確認しデジタル教科書のライセンス更新や要望があった教科の新規導入を行う。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R5実績
事業実績・成果(指標)	【小学校】消耗品費	千円	2,551
	【中学校】消耗品費	千円	1,677
事業費	4,228 千円(R5決算)		
事業の実施内容	小・中学校からの導入要望を確認し、新規の指導者用デジタル教科書を導入した。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	小・中学校での授業での効果的な活用について実績を確認。次年度に向けての要望の調査を行った。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
拡大	デジタル教科書導入による授業内容の変化に対応すべく、継続して小・中学校での活用状況と実績等を調査し要望を踏まえ、更新および新規の導入に備えて予算の確保に努める。特に来年度は小学校の改訂があるためそれに合わせた導入をすすめる。	令和6年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		中学校夜間学級就学援助支給事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
12	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校教育課(学校教育係)
		推進プログラム	8 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	吉野川市内に住所を有し夜間中学に通う生徒のうち、経済的理由により、就学困難と認められる生徒又は生徒の保護者に対して、教材費など学習に係る費用を支給することにより、就学に支障をきたすことなく意欲的に学業に専念できるよう支援し、将来的に自立を促す。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	夜間中学校(県立しらさぎ中学校)と連携して、生徒及び生徒の保護者に対して資料を送付する等周知を行い、援助費を支給する人数の目標を1人とする。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R5実績
事業実績・成果(指標)	中学校夜間学級就学援助受給者	人	1
事業費	25 千円(R5決算)		
事業の実施内容	県立しらさぎ中学校に通う1名の生徒に学用品費、通学用品費を支給した。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	県立しらさぎ中学校と連携して就学援助について周知を行い、1名の生徒に就学援助費を支給することができた。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	夜間中学校(県立しらさぎ中学校)と連携して、生徒及び生徒の保護者に対して資料を送付する等周知を行い、就学に支障をきたすことなく意欲的に学業に専念できるよう支援する。	令和6年4月(制度周知)

自己点検評価シート(令和5年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		青少年育成補導センター	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
13	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	2 家庭と地域の教育力再生	担当課(係)	生涯学習課(人権社会教育係)
		推進プログラム	12 子どもたちが健やかに育つ地域教育の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	青少年の非行防止及び環境浄化等について適切な措置を講じ、心身共に健全な青少年の育成を図る。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	関係機関との連絡体制を強化し、青少年の健全な成長を推進する。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R5実績
	定期街頭補導	回	毎日
	教育相談	件	66
事業費	1,716 千円(R5決算)		
事業の実施内容	街頭補導に加え、警察や学校から情報提供のあった不審者情報に対し、児童・青少年の安全確保のため見回り活動を行った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	補導件数は0件だったが、不審者情報が寄せられており、学校や警察と情報連携して児童・生徒の登下校に合わせて見回りの活動を行った。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	R5年度の街頭補導はなく、不審者情報を考慮しつつ、毎日の巡回活動について、より計画的に行う必要がある。	令和6年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		人権教育推進事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
14	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	3 生涯を通して学べる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(人権社会教育係)
		推進プログラム	12 子どもたちが健やかに育つ地域教育の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	人権教育及び子ども会活動を通じ、人権意識向上と人権問題解決に資する学力の充実を図る。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	小・中学校及び教区集会所での人権学習会の支援

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R5実績
	人権学習会実施	箇所	8
	人権作文集「なかま」の発行	部	3,000
事業費	3,615 千円(R5決算)		
事業の実施内容	小・中学校から人権についての作文等を募集し、作文集にして全生徒や関係機関へ配布した。教育集会所等で人権学習会を開催し、人権学習を推進した。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	人権作文集「なかま」では、児童が実際に身の回りで起こった人権問題について感じたこと等を発表することで、児童の人権意識の向上に寄与している。人権学習会では、人権問題に向き合うために必要な学力の向上や意識等の醸成を図ることが出来た。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	特になし。	令和6年度

自己点検評価シート(令和5年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名	二十歳を祝う会開催事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
15	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)
	推進プログラム	7 豊かな人間性の基礎となる心の育成	生涯学習課(人権社会教育係)	

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	二十歳を節目に成人として社会的責任を自覚し、これまでに育んでくれた人々や社会に感謝するとともに、市民が二十歳を迎える方を祝い励ます場として行う。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	電子申請での予約やバーコードでの受付など参加者の利便性重視、事務手続きの簡素化、会場の安全確保

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果(指標)	名称	単位	R5実績
	参加人数	人	275
	※対象者 317人		
事業費	731 千円(R5決算)		
事業の実施内容	電子申請での予約やバーコードでの受付、会場の安全を確保しながら式典を実施。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	電子申請での予約開始から当日まで大きなトラブルなく、二十歳の門出を祝うことができた。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	今後も引き続き効率的な運営に努める。	令和7年1月

① 基本情報

事業番号	事務事業名	公民館活動推進事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
16	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	3 生涯を通して学べる環境づくり	担当課(係)
	推進プログラム	13 人権教育と生涯学習環境の充実	生涯学習課(人権社会教育係)	

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	地域住民にとって身近な学習拠点として、また交流の拠点とする。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	地域の交流活動が停滞しないよう、ニーズに合わせた講座を開催するなど工夫した運営を展開する。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果(指標)	名称	単位	R5実績
	公民館利用者数	人	112,588
	生涯学習講座数(主催分)	講座	286
事業費	1,898 千円(R5決算)		
事業の実施内容	市民のニーズを取り入れた講座や伝統芸能の講座など、新たな講座の企画を行い、利用者の生涯学習を推進した。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	各種講座、公民館祭の開催など学習の場の提供や地域の交流拠点として生涯学習を推進することができた。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	若い世代の利用促進や、多様化するニーズをくみ取り最適な講座が開催できるよう、講座内容を見直し、工夫する。	令和6年度

自己点検評価シート(令和5年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名	文化施設管理事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
17	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	5 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興	担当課(係)
	推進プログラム	17 芸術文化の振興と郷土文化の継承	生涯学習課(文化振興係)	

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	指定管理者制度にとらわれず、文化施設の経費削減と施設運営面のサービス向上により利用者の利便性の向上を図る。指定期間は、文化研修センター:R3.4.1～R8.3.31、美郷ほたる館:R2.4.1～R7.3.31となっている。アメニティセンターは令和4年度から直営化し山川公民館と統合運営している。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	アメニティセンターを市直営化して、隣接する山川公民館と統合運営し、事務所を統合することで人員を総数8人から5人に削減し、経費の削減を図ってきた。引き続き、最小限度の費用で最大の効果を上げられるよう、経費削減に取り組みつつ、利用者増に務める。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R5実績
事業実績・成果(指標)	文化研修センター利用者	人	66,750
	アメニティセンター利用者	人	9,304
	美郷ほたる館利用者	人	7,568
事業費		34,720	千円(R5決算)
事業の実施内容	指定管理者制度によるモニタリングを行い、事業内容の評価を行った。 指定管理者制度を継続するか、指定管理施設を対象に再検証を行った。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	文研センターはコロナ禍が終わり利用が戻り目標を達成した。美郷ほたる館は利用が戻りつつある。両施設とも引き続き指定管理者制度を継続し利用促進に努める。アメニティセンターと山川公民館の事務所を統合運営することにより、人員がこれまでの8人から5人へと3人削減することができ、約650万円の財政負担の削減を実現することができた。アメニティセンターは文化ホールであり、鴨島公民館と重複しているため在り方を検討する必要がある。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	築年数の経過により修繕が増えていることから、重複した機能を持つ施設の統廃合を見据えて経費を抑えつつ管理運営に努める。	令和6年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名	文化財保護管理事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
18	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	5 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興	担当課(係)
	推進プログラム	17 芸術文化の振興と郷土文化の継承	生涯学習課(文化振興係)	

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	市内の文化財の保護・管理及び伝統芸能(無形指定文化財)の伝承を支援し、文化財を活用して文化観光の推進を図る。潜在化し埋もれた保護すべき未指定文化財の指定を推進し、文化財の保護と活用を行い、文化観光の推進を図る。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	本市の歴史の証であり、市民の財産である文化財を後世に伝えていくために、保護・保存・活用を行い、市民の誇りと郷土愛の醸成を図る。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R5実績
事業実績・成果(指標)	文化財新規指定件数(国県市指定文化財)	件	0
	県指定「江川の湧水水温異常現象」周辺清掃活動参加者11回実施	人	1,236
	国指定「船窪オンツツジ群落」整備活動参加者3回実施	人	120
	山川町内市指定古墳・史跡清掃活動参加者5回実施	人	100
	藍のふるさと阿波 連携展示 吉野川市会場入場者	人	673
事業費		2,100	千円(R5決算)
事業の実施内容	・国指定天然記念物船窪オンツツジ群落の保護管理計画に基づく保護・管理、国指定天然記念物「美郷の木」美郷内開発に係わる文化庁への申請窓口 ・指定文化財周辺の草刈り、剪定、修繕、現況調査、整理、案内・説明看板の設置・修繕、・巨大樹木の危険枝伐採(芳川顕正伯生家跡)・伝統芸能伝承団体への活動支援 ・藍屋敷の調査、未指定文化財の調査、・日本遺産「藍のふるさと阿波」構成文化財の調査と追加・世界遺産認定に向けた「四国遍路」構成文化財の調査研究・文化観光の推進 ・祭行事調査・第31回中四国文化の集い 広島市 山川町神代御宝踊り 第65回中国・四国ブロック民俗芸能大会 高松市 森藤獅子舞		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	文化財は、自然や歴史教育・観光資源として、市民はもとより、県民、国民の財産である。文化財保護法の趣旨に沿い、本市の歴史の証である文化財を後世に伝えていくため、保存・活用を行い、市民の誇りと郷土愛の醸成が図れている。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	文化財を後世に伝えていくために、最低限の費用で保存・活用を行っており、見直しを行うと、数百年間維持してきた文化財の保護が困難となる。文化財の保護・管理を行うのは本事業のみであり、廃止・休止となった場合、適切な保護・管理ができなくなり、本市の歴史の証が失われることになる。未指定文化財の調査に取り組み、保護・保存すべき文化財の新規指定に取り組む。	令和6年度

自己点検評価シート(令和5年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		文化芸術振興事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
19	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	5 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興	担当課(係)	生涯学習課(文化振興係)
		推進プログラム	17 芸術文化の振興と郷土文化の継承		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	文化関係団体の活動を支援するとともに育成を図る。 文化芸術振興活動、国際交流事業に対する補助金交付及び活動に対する支援を行う。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	補助金により各団体の活動を支援することで、文化芸術の振興を図る。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R5実績
	吉野川市芸術祭 総合美術展、芸能祭、合同茶会・いけばな展 来場者数	人	2,439
	コンサート(藍dyeing jazz、吉野川市にヨーデルがやってきた!) 来場者数	人	372
	県展選抜展 来場者数	人	798
	日本語教室開催回数(鴨島47回、山川47回)(鴨島32名、山川35名)	回	94
	国際交流協会:交流事業参加者数(9回実施)	人	235
事業費			1,290 千円(R5決算)
事業の実施内容		文化芸術振興活動、国際交流事業に対する補助金交付及び活動に対する支援を行った。	

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	各団体の活動により、本来市が直営で実施しなければならない文化芸術の振興に繋がる活動が活発に行われ、最小限の経費で最大の効果を上げることができており、補助金以上の活動を行うことができた。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	各団体の活動により、本来市が直営で実施しなければならない文化芸術の振興に繋がる活動が活発に行われ、最小限の経費で最大の効果を上げることができており、補助金以上の活動を行っていることから、現状のまま維持する。	令和6年度

① 基本情報

事業番号	事務事業名		全国大会参加者派遣補助事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
20	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(社会体育係)
		推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	全国大会へ出場する者及び保護者の負担を軽減することでスポーツ及び文化の振興を図る。 個人の場合 10,000円 団体の場合 上限10万円(10人までは1人につき10,000円)
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	全国大会出場者の増加に対応できるよう財政課と協議をしながら事業推進を行う。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R5実績
	補助件数	件	36
事業費			110 千円(R5決算)
事業の実施内容		関係者等に制度の概要について説明を行い補助金を交付。	

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	全国大会出場者は増加傾向にあるが、対象者全員に補助金を支給することができた。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	出場者の増加により予算不足となるため、財政課と協議しながら即時対応していく。 該当大会や対象出場者の基準の見直しが必要である。	年間

自己点検評価シート(令和5年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		徳島駅伝吉野川市選手団運営委員会	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
21	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(社会体育係)
		推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	選手及び指導者の育成を行い、吉野川市代表として徳島駅伝に出場し、地域の活性化を図る。 合同練習会・合宿等の強化を行い、1月3日～5日の徳島駅伝に出場する。
前年度課題を 踏まえた目標 (新規除く)	学生選手の育成と強化を図り、チーム力を向上させ上位入賞を目指す。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R5実績
事業実績・成果 (指標)	総合順位	位	6位
事業費	3,400 千円(R5決算)		
事業の 実施内容	新型コロナウイルスにより減少していた練習回数を増やし、選手の育成と強化練習に取り組み徳島駅伝に出場した。16年ぶりの入賞を果たすことができた。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	選手育成・強化の成果が表れ16年ぶりに入賞することができた。
-----------------------	---	-------	--------------------------------

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	選手団については、各学校と連携し中学生・高校生の育成・強化を図る。	7月～1月

① 基本情報

事業番号		事務事業名	スポーツ団体活動支援・人材育成事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
22	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)	生涯学習課(社会体育係)
		推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	スポーツ団体の活動を支援するとともに競技者及び指導者の育成を図る。 市民の健康増進を推進し、市民相互の交流を図ることを目的とする。 市民体育祭・各種スポーツ大会の開催支援・スポーツ少年団活動補助・スポーツ推進委員設置
前年度課題を 踏まえた目標 (新規除く)	市民がスポーツに触れる環境づくりに努め、競技力向上と健康増進を図る。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R5実績
事業実績・成果 (指標)	スポーツ協会加盟団体	団体	19団体
	市スポーツ推進委員	人	25人
事業費	6,475 千円(R5決算)		
事業の 実施内容	スポーツ協会加盟団体に活動補助を行い、市民体育祭記念行事を実施。また、スポーツ優秀者を対象とした表彰を実施。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	19加盟団体に活動補助を行い、各スポーツ団体が積極的に活動することで、市民の健康増進、地域活性化に繋がった。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	スポーツ団体の活動を支援することで、市民が年齢や体力に応じたスポーツに関わることができるよう環境づくりの推進に努める。	年間

自己点検評価シート(令和5年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名	体育施設の管理・運営事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
23	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)
	推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実	生涯学習課(社会体育係)	

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	市民の運動活動の場所を提供し、スポーツの振興を図る。 体育施設の使用許可・管理及び維持修繕を行う。
前年度課題を 踏まえた目標 (新規除く)	市民が快適に利用できるよう施設の整備を行い、スポーツに親しむ環境づくりを進めていく。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R5実績
事業実績・成果 (指標)	利用件数	件	133438件
事業費	31,457 千円(R5決算)		
事業の 実施内容	定期的に施設を巡回し、老朽化している施設の修繕を行い維持管理に努める。 利用者からの意見を参考に利用方法の改善を図る。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	定期的に施設を巡回し、可能なところから順次修繕を行い利用者の満足度向上を図った。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	市民が安心してスポーツを行えるよう施設を整備し、快適な環境を提供する。 施設改修も優先順位をつけ避難所に該当する施設から計画的に進めていく。	年間

① 基本情報

事業番号	事務事業名	吉野川市民プラザ・多目的グラウンド維持管理・運営業務	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
24	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)
	推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実	生涯学習課(社会体育係)	

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	まちなかの賑わい創出を図るとともに、文化・芸術交流の充実強化やコミュニティ形成の促進、市民の健康増進とスポーツ振興に寄与することを目的とする。施設の維持管理・運営に関する業務。
前年度課題を 踏まえた目標 (新規除く)	管理者と連携し市民プラザの良好な維持管理と運営に取り組む。 PR活動も行い利用者数の増加を図る。

③ 実施結果(DO:推進)

	名称	単位	R5実績
事業実績・成果 (指標)	市民プラザ利用者数	人	132,703人
	多目的グラウンド利用者数	人	60422人
事業費	83,827 千円(R5決算)		
事業の 実施内容	管理者と連携し維持管理と運営業務に努めた。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	指定管理者と連携しながら、利用者のニーズに対応する運営と、安全な施設管理に努めた。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	管理者と連携し利用者のニーズに応じた効率的な施設運営を図る。	年間

自己点検評価シート(令和5年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名	美郷一周駅伝事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
25	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)
	推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実	生涯学習課(社会体育係)	

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	吉野川市の活性化と地域住民の交流を図る。 一般の部(40チーム)女子の部(10チーム)を募集し、美郷地区内を5区間で襷をつなぎ駅伝を行う。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	参加チームが増えるよう運営内容を再検討し、大会の実施に向けて事業を進めていく。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果(指標)	名称	単位	R5実績
	一般の部	チーム	26チーム
	女子の部	チーム	4チーム
事業費	564 千円(R5決算)		
事業の実施内容	新型コロナウイルス対策のため縮小していた区間を増やし、コースを変更し運営した。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	昨年大会から区間を増やし(4区間→5区間)、距離も増やし開催。参加者にも好評であった。
-----------------------	---	-------	---

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	全国的にマラソン人口が減っている中、参加者を増やし大会を継続していくために運営方法についての創意工夫が必要である。	12月

① 基本情報

事業番号	事務事業名	吉野川市リバーサイドハーフマラソン事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
26	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり	担当課(係)
	推進プログラム	16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実	生涯学習課(社会体育係)	

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	吉野川市のPR及び交流人口の増加を図る。 鴨島運動場を発着点とするハーフマラソン・3kmの部を開催。
前年度課題を踏まえた目標(新規除く)	参加者が増えるよう運営内容を再検討し、大会の実施に向けて事業を進めていく。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果(指標)	名称	単位	R5実績
	申込者数	人	562人
事業費	6,041 千円(R5決算)		
事業の実施内容	コースや駐車場の整地を実施し、参加者の満足度向上を図り大会を実施した。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	B	評価理由等	参加者の満足度向上のため、コース、駐車場の整地を行い開催した。前回大会より、コース、駐車場は改善したが、全国的にマラソン人口が減少しているため参加者は横ばいである。
-----------------------	---	-------	--

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
見直し/改善	全国的にマラソン人口が減る中、大会を継続していくために運営方法についての創意工夫が必要である。	2月

自己点検評価シート(令和5年度実施事業)

① 基本情報

事業番号	事務事業名		学校給食センター事業	事業種別	☐ 新規 ☐ 拡大 ☒ 継続
27	第2次 吉野川市 教育振興計画	教育目標	1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成	担当課(係)	学校給食センター
		推進プログラム	6 心身ともに健やかでたくましく生きる力の育成		

② 事業概要(PLAN:計画設計)

事業の目的・内容	児童生徒に栄養バランスのとれた給食を提供し、食育を推進すること。
前年度課題を踏まえた目標 (新規除く)	児童生徒に栄養バランスのとれた給食を提供すること。 給食に地場産物を取り入れるなど、給食を生きた教材として活用し、食育の推進に努めること。

③ 実施結果(DO:推進)

事業実績・成果 (指標)	名称	単位	R5実績
	給食提供日数	日	200
	食育授業回数	回	73
事業費	294,216 千円(R5決算)		
事業の実施内容	栄養バランスに配慮した上で、地場産物や伝統料理・行事食を活用した献立を作成し、給食を提供した。 児童生徒に食育の授業を行ったり、小中学校に掲示物を貼ったり、家庭に食育だよりを配付したりした。		

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

総合評価 (A:高、B:中、C:低)	A	評価理由等	前述の「②事業概要」を達成する「③実施結果」を得られたため。
-----------------------	---	-------	--------------------------------

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

今後の方針	今後の課題と改善案等	実施予定時期
現状維持	今後も、前述の「②事業概要」を達成するための視点を持ち、創意工夫を加えていくこと。	令和6年度